

【説明資料】

「5S活動」の進め方

楽々改善舎

【1】5S活動とは？

◆5Sとは？

- ・5つのローマ字の頭文字をとったもの

Seiri : 整理

Seiton : 整頓

Seisou : 清掃

Seiketsu : 清潔

Shitsuke : しつけ

- ・職場の抱える課題を解決するための改善活動
単なる掃除のことではない
- ・仕事の質を高め、チーム力を高めることができる
- ・**現場が元気になり**、モチベーションが向上

【3】5S活動の手順

◆進める手順：「整理」「清掃」「整列＋整頓」⇒「3S」

「整理」：要るものと要らないものを分類して要らないものを捨てる <捨てる>

「清掃」：キレイに保つ <ピカピカ>

「整列」：ものの置き方 <直角平行>

「整頓」：取りやすい位置に、分かり易く置く <



◆「清潔」と「しつけ」を加えて ⇒「5S」

「清潔」：3Sをずっと維持すること <維持>

「しつけ」：みんなが決めたことをみんなで守る <定着>

【4】整理：進め方

◆「整理」のステップ

- ①要るものと要らないものを分ける
- ②要らないものを捨てる



◆身の周りを、「要るもの」だけにする簡単な方法

- ①机の中や作業台のものを、全て、外に出す
- ②全て出した後、今日使うものだけを、元に戻す

◆「要るもの」⇒ いつ使うか？という基準で考えてみる

- ・今日使う／今週使う／今月使う／いつか使う、と分類
- ※今日使うものだけが「要るもの」

◆要らないもの ⇒ ホコリがかぶっている／余っている

【5】整理：捨てる方

◆「要らないもの」を迷わずに捨てる

- ・壊れているものは、すぐに捨てる
- ・修理するほどでもなければ、直ちに捨てる



◆捨てる時のアイデア

- ・捨てる前に一か所にまとめて、写真を撮り、重量を計る
- ・トータル何kg捨てた ⇒ 5S活動のやりがいとなる

◆残った「要るもの」⇒ 1か所にまとめ、日付を書く

- ・置いておく期限を決める ⇒ 長くても6か月まで!!
『~~~~(日付)まで保管』と、分かりやすく書いておく
- ・期限が過ぎたら捨てる

【6】整理：効果

◆捨てる、どんなメリットがあるのか？ ⇒ 環境が整う

- ・スペースが空いて、スッキリ
- ・ものを取り出したり、元に戻すことが早い
- ・探す時間の短縮

※多く「捨てた」⇒ 次回の購入時、よく考えるようになる

◆思い切って、使わないものは捨ててしまう

- ・世の中の変化に対応するために捨てる
- ・「整理」とは、「変化」そのもの
- ・使う／使わないという「眼力」を身につける
- ・捨てるという「決断力」が飛躍的に向上する



◆「眼力」と「決断力」は、全ての仕事に生きてくる

【7】清掃：進め方

◆要らないものを捨てる ⇒ 汚れやゴミが目立つ

・「整理」→「清掃」の方が自然

◆「清掃」の仕方

- ・掃除機やほうきでゴミを取り除く
- ・濡れた雑巾やウエスで拭く
- ・雑巾、水拭きシート、ヘラ(スクレーパー)などの掃除用具を使う ※100円ショップに、販売されている



◆清掃すると

- ・清潔感があふれすがすがしく感じ、部屋が明るくなる
- ・訪れたお客様や業者さんが感心し、褒めてくれる
- ・徹底的に工場をキレイに⇒工場を「ショールーム」化

【8】清掃：気をつけること

◆床の清掃

- ・最初の一回 ⇒ はいつくばって手で水拭き清掃を行う
※目の位置(視線)が床に近く、汚れが目で確認できる
汚さないようにしようとする意識が芽生える
- ・2回目から ⇒ モップで清掃が良い

◆清掃道具の置き場所、しまい方

- ・外から誰でも見える ⇒ ロッカーなら扉を取る
- ・うす汚れたほうきや雑巾は置かない
- ・ほうきに番号を付ける(個人管理) 『マイ雑巾』



【9】整頓：まずは整列を行う

◆「整列」ものの置き方

- ・準備として「整列」を行う。ものを直角平行に置くこと
- ・ものを取りやすく、元に戻しやすくするために必要
- ・作業台の上⇒工具やペンを、使う位置に手元化する

◆悪い例 ⇒ ペン立てやレンチセットを置いている

- ・レンチやペンは、よく使うペン2～3本だけを置く

◆床の基準線 ⇒ 機械や作業台を置くために重要

- ・絶対に、この線の上にものを置いてはダメ
- ・線が傷むので踏むことも禁止
- ・キャスター付きの作業台や台車（動かせるもの）
⇒ 直角平行に置く。線の上に置くことも禁止



【10】整頓：進め方

◆「整頓」⇒「頓」とは、「すぐに」という意味

- すぐに取り出せること／すぐに元に戻せること
- 工具や材料は製品に近い方が早く組める
- ドライバーを戻す場合、手の回転が必要
⇒ ペン立てのようなものがあると、回転が不要
- 手元を、スマホやデジカメで撮影すると、分析できる



◆材料や工具がたくさんある場合

- 材料や工具の置き場 ⇒ 2階建てや3階建てにする
- 人間の腕（約30cmしか動かない）
前後方向 ⇒ 伸びきらない位置に置く
上下方向 ⇒ 腕の角度が最大45度ぐらいまでにする
- ものの大きさにもよるが、3階建て位までが望ましい

【11】整頓：気をつけること

◆置く場所を決めるために ⇒ 「三定(さんてい)」が重要

- ・定位置、定品、定量（置く位置、何を置くか、数量）
- ・誰が見ても、一目で正しい位置であるようにするため

◆ラベルを使う

- ・ラベルを作って机に貼り付ける
- ・数量は、ラベルに品名と一緒に、例えば「レンチ／1本」

◆別の方法

- ・品物の周りに細いテープで囲う方法
- ・ラベルをマグネットシートに貼り付け、作業台に貼る
- ・工具を並べた状態で写真を撮り、原寸大で印刷して貼る